

豊郷町の集落営農法人における 人材確保・育成に向けた行動計画の策定

湖東農業普及指導センター

【普及活動のねらい・対象】

豊郷町には集落営農法人が6組織設立されており、これらの法人の町内の面積シェアは約46%で、重要な担い手となっています。しかし、近年では定年延長や人口減少等により、人材の確保・育成に不安を抱える組織が増加しており、豊郷町の6組織も同様に不安を抱えていることがアンケート調査により分かりました。

そこで、各集落営農法人が今後も安定した経営を展開していくために、次代の人材確保および育成についての話し合いや行動計画の策定ができるよう支援しました。

【普及活動の内容】

各集落営農法人が、組織の課題整理とその解決策を考えられるよう、専門の講師を招き3回の研修会を実施しました。

(1) 第1回【各法人の人材の棚卸し】（7月30日実施）

各法人の現状と人材の候補がどれだけいるのかを把握するために、人材の候補をリスト化し、いわゆる「人材の棚卸しリスト」を作成しました。

(2) 第2回【各法人の課題の洗い出しと整理】（10月23日実施）

作成した人材の棚卸しリストを基に、5年後・10年後に人材が足りているのかどうか、足りていなければ何が課題となっているのかを整理しました。

(3) 第3回【行動計画の発表】（12月13日実施）

第1～2回の研修会で整理した課題に対し、課題解決に向けた次年度以降の行動計画を作成、全員の前で発表し、取組内容について共有・検討を行いました。

また、各研修会後には関係機関とともに法人毎にフォローアップを行い、課題の整理や解決策の提案などの支援を行いました。



写真 組織ごとに分かれて検討

【普及活動の成果】

当初は、消極的な意見が多かったものの、第3回の研修会では、次年度からの行動計画を4法人で作成することができました。また、人材確保・育成に対する意識も変わってきており、今から活動を行っていく必要性についても理解を促すことができました。今後も作成した行動計画の実践ができるよう支援を行っていきます。

◎対象者の意見

人材については、漠然と問題だとは捉えていたが、役員同士で話すことは無かった。今回を良い機会と捉え、課題解決に向け取り組みたい（豊郷町集落営農法人役員）。